

# 一般質問発言通告書

発言順位	2番
------	----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和5年 2月14日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 15 番 岡田 美喜子

質問事項 1	駅前再開発に伴う「駅まち空間」の取り組みについて
具体的内容	
<p>国土交通省では、新型コロナウイルス感染症の危機を契機に、働くにも住むにも快適な環境、ゆとりのあるスペースへのニーズが高まり、安全性、快適性、利便性を備えた「駅まち空間」の一体的な整備が期待されるとし、有識者による検討会を設置後、「駅まちデザインの手引き」を公表しています。</p>	
<p>三島市においては、三島駅南口の東西街区の整備に伴い、まちの玄関口としての駅や駅前広場、その周辺市街地も含めて、一体的に必要な機能を配置することが必要と考えます。</p>	
<p>三島市の「駅まち空間」の取り組みについて伺います。</p>	
1 三島駅南口駅前広場の整備のこれまでの経過、状況について	
2 南口駅前広場公共交通利用環境検討調査の進捗状況とその結果について	
3 三島駅南口駅前広場の課題について	
4 三島駅南口駅前広場に求められる役割と将来のあるべき姿について	
5 駅前再開発に伴う駅とまちをつなぐ三島駅南口駅前広場の整備の検討状況と今後の取り組みについて	
質問事項 2	生活困窮者が抱える課題とその支援策について
具体的内容	
<p>長引くコロナ禍に加え、物価高騰等の影響により生活に困窮している人が増え、支援の充実が求められています。</p>	
<p>厚生労働省によると、令和2年度の生活困窮者自立支援制度の新規相談件数は、令和元年度の248,398件に対し約3.2倍の786,163件であり、令和3年度は令和2年度に比べ減ったものの、約2.1倍となっています。自立支援の現場からは、一時的な生活支援への対応に追われた結果、従来の伴走型支援を行うことができないとの課題が上がっています。</p>	
<p>三島市の生活困窮者に対する支援について伺います。</p>	
1 相談状況の推移とプラン作成の状況、相談体制について	
2 支援事業の利用状況について	
3 子どもの貧困対策やひとり親家庭への支援の強化について	
4 住居を失った人、失うおそれのある人に対する支援について	
5 フードバンク利用の周知と支援団体に対する支援について	